



くろほねっ子

平成30年度
黒保根小学校 学校だより
第18号
平成30年 9月 4日(火)
〈文責〉校長

心を一つに！

9月になりました。運動会まで10日余り、子どもたちの毎日の練習にも力が入ってきています。今年度のスローガンは・・・

『心を一つに、黒保根パワーでつきすすめ』

わたらせ、あかぎ両団ともに、みんなで力を合わせて、心に残る運動会にしよう、そんな思いが伝わってきます。このスローガンの通り、全体練習や学年練習、応援練習に真剣に取り組んでいます。

上学年の『表現』の練習では、5・6年生が手本となり、はじめての4年生も、上級生についていこうと一生懸命に頑張っていました。また、応援の練習でも、6年生がリーダーシップを発揮して、団のみんなをまとめようと熱心に練習しています。

運動会には、子どもたちの体力の向上はもちろんですが、友達と協力すること、縦割りの集団の中でそれぞれの役割を果たすこと、みんなで団結して一つのものを作り上げる喜びを感じるなど、多くの目的があります。運動会当日の結果はもちろんですが、それ以上に毎日の練習の中から得るものが多いと思います。練習の積み重ねが一人一人の自信につながり、向上する喜びを感じている子どもも見ることができます。残り10日間、私たち職員も、目標に向かって一生懸命に取り組む子どもたちと一緒に、精一杯頑張りたいと思っています。



【上学年の練習の様子】



【応援の練習にも熱が入ります】

＝運動会の暑さ対策について＝

今年度は真夏の暑さ同様に残暑も厳しくなっています。市内の小学校では、どの学校も時間短縮や縮小した開催など、運動会について様々な暑さ対策を講じています。

本校も、町の運動会実行委員会と相談し、例年の実施方法を見直し、変更したところがあります。御理解の上、御協力をお願いいたします。

- 入場行進は行いません。直接開会式の体形に整列します。
- 開会式・閉会式の時間短縮をします。
- 徒競走については、一人一人の呼名をせずにスタートします。
- 定期的に給水呼びかます。

終了予定が例年より30分程度早くなっています。また、競技の様子によっては、もう少し進行が早まることも予想されますので、御承知おきください。子どもたちの体調に十分注意しながら実施したいと思います。御協力ください。



夏休みの様子から～その2～

前号に続き、夏休み中の様子を紹介します。

◎こども環境教室（8月7日）

市役所の環境課が主催する『桐生市こども環境教室』に、4～6年生16名が参加しました。足尾銅山の緑化事業も兼ね、植樹も予定されていましたが、台風の影響で、植樹をすることはできませんでした。足尾環境学習センターと、草木ダムを訪問し、それぞれ係の方から説明を聞いたり、施設を見学することができました。

渡良瀬川は、黒保根町を流れ、桐生市の主要水道水源であり、その上流にある足尾の緑化状況などを学習し、環境に対する意識を高めることはとても大切なことだと思います。

残念ながら植樹はできませんでしたが、足尾について話しを聞いたり、草木ダムを見学したことで、子どもたちは身近な環境や渡良瀬川の大きな恵みについて、あらためて考えることができたと思います。



【足尾環境学習センター】



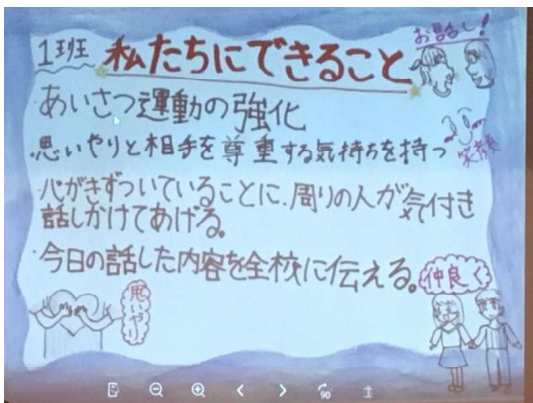
【草木ダムを見学】

◎桐生みどり地区いじめ防止フォーラム（8月3日）



桐生市とみどり市の小学校・中学校・高等学校の代表児童生徒約60名が集まり、いじめ防止などについて話し合う『いじめ防止フォーラム』が、笠懸公民館で開催されました。

黒保根小からは相川陽向さんが参加し、体験活動を行ったり、他の小学校の児童や、中学生・高校生と話し合いをしました。今年度のテーマは「仲間を支援する人間関係づくり」で、最初に講師の先生のお話を聞き「人間関係づくりプログラム」を体験しました。その後、『仲間が困っていること、悩んでいることに気づき、仲間同士で支え合うために、私たちにできること』をテーマに、班別協議を行いました。それぞれの学校で行っている活動について情報交換をしたり、これから取り組んでいけることについて意見交換をしました。また、児童生徒だけでなく、参加した先生方や保護者の方も、子どもたちの話し合いの様子を見学したり、『子どもたちに寄り添う支援の仕方』についての講話を聞いたりしました。最後に班別協議の発表の時間があり、それぞれの班で作成した行動目標を発表し、出された



様々な意見を共有することができました。

いじめをなくすために、どの学校も様々な活動に取り組んでいます。今回、代表で参加した相川さん、フォーラムで体験したことを、黒保根小学校での活動に生かしていけるよう、頑張ってくれることを期待しています。